

日本史学特殊研究第1回
—象徴天皇制をめぐる現状と法制度—

担当：河西秀哉

概要・講義目標

- ・ 象徴天皇制の歴史、日本社会にとっての天皇制、私たちと天皇との関係性を考える。
- ・ 近現代史研究、天皇制研究の方法と課題を考える。

全体の参考文献

- ・ 河西秀哉『天皇制と民主主義の昭和史』（人文書院、2018年）
- ・ 河西秀哉『明仁天皇と戦後日本』（洋泉社、2016年）
- ・ 吉田裕・瀬畑源・河西秀哉編『平成の天皇制とは何か』（岩波書店、2017年）

象徴天皇制をめぐる動向

- ・ 秋篠宮眞子内親王と小室圭さん「婚約」をめぐる騒動

眞子内親王（1991年～） 国際基督教大学（ICU）卒業

サブカルチャーとしての天皇制 ネットとの親和性（「眞子さま萌え」）

若い世代／女性皇族への注目

週刊誌・ワイドショーと天皇制

- ・NHK 第9回「日本人の意識」調査（2013年） 16歳以上5400人に対して
天皇に対する意識調査も

親しみ・尊敬への高い数値

無関心の低下

→その要因は何か？

「象徴」という地位

- ・日本国憲法（1946年11月3日公布、1947年5月3日施行）／皇室典範

- ・憲法に定められた仕事

なぜ限定されているのか？

- ・私的な行為

「私人」としての天皇

- ・「グレーゾーン」としての行為

象徴としての立場で行う

- ・増え続ける仕事

「生前退位」問題とは？

- ・何が問題なのか

参考文献

- ・河西秀哉「『生前退位』狂騒曲と象徴天皇制」（『歴史学研究』第954号、2017年）